

[第849回ゼミ報告] 2023年1月6日号

あけましておめでとうございます。「今年こそ、いい年でありますように」と願いながらも、コロナ禍は四年目に入り、中国で再び感染拡大が…  
1月28日のゼミは、マルクス『資本論』第3巻第7編第50章「競争の外観」を高田の報告で行いました。生産価格は不変資本補填部分+労賃部分+剰余価値に、剰余価値は収入形態として利潤・利子・企業者利益+地代に。労賃・利潤・地代の三つの収入形態がそれぞれの法則で規定される。3つの合計から商品の価値・生産価格が生じるのではない。3つの収入形態の限界内で変動している。諸収入に分解される価値部分は労働の分量で規定される。一般的利潤率は社会的総資本による剰余価値との比率。地代は一般的利潤率への生産価格が規制する個別の利潤率の背離に限界を持つ。労働の価格は労働者の必要生活手段で規定。競争は利潤率の不均等を均衡化するだけ、競争は利潤を作らない。産業家・商人・銀行家・俗流経済学者は商品の価値を足し算の結果と取り違える：諸収入の自立・相対：労賃の変化から、それぞれが独立的・自立的に規定して現れる。価値規定は資本家の背後で関わりない力で行われる。この章では論証展開が何度も出てくる、価値から価格への上向過程での草稿段階の限界か。報告では「真の資本主義の姿」と「競争の外観」を図で表してみた、一般的利潤率と競争による変化。  
討論では、第7編全体が1巻で論じたものが現実はどうか、生産価格・社会全体から見る。個々では価値と価格の乖離から平均利潤へ。認識の転倒：太陽と地球：太陽は東から西、日の出・日の入り、地球が太陽の周りを回ることの証明：地球の自転。新書版の訳語の問題・複数表現について：生産「諸」価格など「諸」は必要か、上装版も同様、新版で見直し。競争以外に表層の問題はあるのか、現象：転倒・疎外・物心崇拜。競争が主題ではないとの説、競争があるから外観がある。章末の未来社会論の所が報告でなかった。会場出席は高島さん・川口さん・松村さん・山口さん・高田、オンライン参加は小野さん・斎藤さん・竹内さん・後藤さんの9名でした。

\* 1月11日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 817 4187 1449 パスコード: 407739

\* 次回からのテキストは、柄谷行人『力と交換様式』岩波書店 です。

\* 1月25日(第4週ゼミ)は3巻51・52章で資本論3巻を終わります。

その次は「エンゲルスの補遺」を予定。その後のテキスト、乞う推薦。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

1月11日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』序論：上部構造・～交換・～ 報告 川口さん

1月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

マルクス『資本論』3巻7編51章 諸関係・52章 諸階級 報告 小野さん

2月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第1部：予備的考察・第1・1章 報告者未定

その後 2/22, 3/8, 3/22 [アイクルの部屋]

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso